【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公開番号】特開2007-167291(P2007-167291A)
【公開日】平成19年7月5日(2007.7.5)
【年通号数】公開・登録公報2007-025
【出願番号】特願2005-367966(P2005-367966)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　8/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　8/08

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月30日(2008.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検体との間で超音波の送受信を行う超音波探触子と、前記超音波探触子からの出力信号に基づいて弾性画像または形態画像の少なくともいずれかを構成する画像構成手段と、前記形態画像に前記弾性画像を重ねたＥｌａｓｔｏ画像と前記形態画像とを同時に表示する表示手段と、を備える超音波診断装置であって、
前記表示手段に表示される前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像に関心領域を設定する関心領域設定手段と、
前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像に設定された前記関心領域を介して前記関心領域内の計測情報を取得する計測情報取得手段と、
を具備することを特徴とする超音波診断装置。
【請求項２】
前記表示手段は、前記形態画像に設定された前記関心領域に対応する対応領域を前記Ｅｌａｓｔｏ画像に表示する、または、前記Ｅｌａｓｔｏ画像に設定された前記関心領域に対応する対応領域を前記形態画像に表示することを特徴とする請求項１に記載の超音波診断装置。
【請求項３】
前記表示手段は、前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像のいずれかにおける全てあるいは一部の前記関心領域及び前記対応領域を表示することを特徴とする請求項１または請求項２に記載の超音波診断装置。
【請求項４】
前記表示手段は、前記Ｅｌａｓｔｏ画像の前記弾性画像の表示領域に対応する領域枠を前記形態画像において表示することを特徴とする請求項１から請求項３までのいずれかに記載の超音波診断装置。
【請求項５】
超音波送信信号を生成して超音波探触子に送信するステップと、前記超音波探触子からの出力信号に基づいて弾性画像または形態画像の少なくともいずれかを構成するステップと、前記形態画像に前記弾性画像を重ねたＥｌａｓｔｏ画像と前記形態画像とを同時に表示するステップと、を備える超音波計測方法であって、
前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像に関心領域を設定するステップと、

前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像に設定された前記関心領域を介して前記関心領域内の計測情報を取得するステップと、
を具備することを特徴とする超音波計測方法。
【請求項６】
前記形態画像に設定された前記関心領域に対応する対応領域を前記Ｅｌａｓｔｏ画像に表示するステップ、または、前記Ｅｌａｓｔｏ画像に設定された前記関心領域に対応する対応領域を前記形態画像に表示するステップを具備することを特徴とする請求項５に記載の超音波計測方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
前述した目的を達成するために第１の発明は、被検体との間で超音波の送受信を行う超音波探触子と、前記超音波探触子からの出力信号に基づいて弾性画像または形態画像の少なくともいずれかを構成する画像構成手段と、前記形態画像に前記弾性画像を重ねたＥｌａｓｔｏ画像と前記形態画像とを同時に表示する表示手段と、を備える超音波診断装置であって、前記表示手段に表示される前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像に関心領域を設定する関心領域設定手段と、前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像に設定された前記関心領域を介して前記関心領域内の計測情報を取得する計測情報取得手段と、を具備することを特徴とする超音波診断装置である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、前記表示手段は、前記形態画像に設定された前記関心領域に対応する対応領域を前記Ｅｌａｓｔｏ画像に表示する、または、前記Ｅｌａｓｔｏ画像に設定された前記関心領域に対応する対応領域を前記形態画像に表示することが望ましい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、前記表示手段は、前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像のいずれかにおける全てあるいは一部の前記関心領域及び前記対応領域を表示することが望ましい。
各計測ＲＯＩを表示に関しては、表示・非表示のフラグを用いることで目的の画像上にのみ計測ＲＯＩを表示することができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、前記表示手段は、前記Ｅｌａｓｔｏ画像の前記弾性画像の表示領域に対応する領域枠を前記形態画像において表示することが望ましい。
これにより、Ｅｌａｓｔｏ画像の弾性画像の領域枠に対応する位置に領域枠を表示させ

ることにより、形態画像において弾性画像の表示部分を正確に把握することができる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
第２の発明は、超音波送信信号を生成して超音波探触子に送信するステップと、前記超音波探触子からの出力信号に基づいて弾性画像または形態画像の少なくともいずれかを構成するステップと、前記形態画像に前記弾性画像を重ねたＥｌａｓｔｏ画像と前記形態画像とを同時に表示するステップと、を備える超音波計測方法であって、前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像に関心領域を設定するステップと、前記Ｅｌａｓｔｏ画像または前記形態画像に設定された前記関心領域を介して前記関心領域内の計測情報を取得するステップと、を具備することを特徴とする超音波計測方法である。